

2007年4月11日  
自治体議会改革フォーラム

自治体議会における自由な討議、市民の参加、情報公開を軸とした改革を呼びかける「変えなきゃ！議会2007キャンペーン」の賛同候補者から、4月8日実施の道府県議会議員選挙と政令市議会議員選挙において、60名が当選しました。賛同議員、候補者は4月10日現在で合計454名になりますが、そのうち276名が4月22日実施の市町村議会議員選挙に立候補予定で、賛同候補は現在も日々増加中です。

統一自治体選挙前半を振り返り、後半に向けての争点を提起するコメントを、以下のとおり発表いたします。

統一自治体選挙前半を終えて  
変えなきゃ！議会2007キャンペーン中間報告

4月8日に2007年統一自治体選挙の前半が終わりました。

亥年の統一自治体選挙は、夏に控えた参議院議員選挙の「前哨戦」としてとらえられがちですが、今年の前半戦は、国政政党への支持動向という点では各種選挙ごとに異なる結果を示し、それぞれの自治体ごとの争点で選挙が展開されたことが伺える結果となりました。

道府県議選、政令市議選では、全体として二大政党への傾向が強くあられ、ローカルパーティーの候補や独立度の高い無所属候補にとっては厳しい結果となりました。そのなかで、政党、会派による議員選挙に向けてのローカルマニフェストの発表が広がり、その多くで議会改革が取り上げられたことは、前半の議員選挙のひとつの特徴となりました。

「変えなきゃ！議会2007キャンペーン」の賛同候補者は、現職53名、新人66名の計119名が前半の選挙に出馬され、現職43名、新人18名、合計60名の当選という結果になりました。とくに新人候補にとっては厳しい選挙戦と

なりましたが、議会改革に関する共通の公約を掲げた 60 名が議会の場に送り出されることとなります。ローカルマニフェストによる議会改革の約束とあわせて、今後の道府県議会、政令市議会における議会改革を始動する契機となるものと期待しています。

4月22日投票の後半は、より身近な市区町村において行われます。マスコミによる情報伝達よりも、対面関係による直接的な情報伝達が果たす役割の大きい選挙であり、国政からの直接の影響はより薄く、前半よりもさらに純粋にローカルな観点が主となる選挙が展開されます。パーティーマニフェストよりも、個々の候補者の公約が選挙戦を主導することから、「変えなきゃ議会！2007キャンペーン」賛同候補者が議会改革を共通公約として掲げることの意義はさらに大きくなるものと期待されます。

4月10日現在の賛同者のうち後半戦に出馬予定の方が276名おられます。議会改革がそれぞれの選挙における争点として浸透し、今後の議会改革の契機となるような選挙戦が展開され、改革への有権者の支持がさらに広がることを期待しています。

自治体議会改革フォーラム呼びかけ人代表  
廣瀬 克哉

<本件についての問い合わせ先>

自治体議会改革フォーラム ( <http://gikai-kaikaku.net/> )

事務局 (担当 亀井誠史)

E-mail [info@gikai-kaikaku.net](mailto:info@gikai-kaikaku.net)

TEL 03-3234-3844 FAX 03-3263-9463

〒102-0083 東京都千代田区麴町 2-7-3-2F

呼びかけ人代表 廣瀬克哉 (法政大学教授)

E-mail [hirose@hosei.ac.jp](mailto:hirose@hosei.ac.jp)